

さくら湖自然観察園における環境学習計画

— 自然との共生を学ぶ場をめざして —

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

1. 主 旨

(1) 三春ダム（さくら湖）の誕生

三春ダム（さくら湖）は、阿武隈川流域の総合開発の一環として、大滝根川（福島県田村郡三春町）に建設された多目的ダムである。この建設事業は、昭和43年の予備調査より開始され、その後、昭和59年に一般補償の妥結、昭和63年本体着工、平成8年試験湛水開始、平成10年管理移行といった経緯を経ており、三春町をはじめとする福島県中通り地方にとっては、長期にわたる大事業であった。事業の当初のさくら湖は、地元住民にとっては、先祖伝来のふるさと喪失という痛恨事であったが、ダムが完成し運用に至った現在、さくら湖は地元住民にとって誇りに思える存在となっている。今後、より地域に開かれたダムになるよう一層の支援が必要である。

(2) さくら湖の環境問題

さくら湖は、建設当初から湖水の富栄養化やダムの寿命に係わる堆砂が大きな課題とされている。これらの諸問題を解決するためにも官民共同でさくら湖を中心とした環境保全の研究に力を入れている。

(3) 環境学習のための自然観察園構想

「地域に開かれたダム」として「田園生活」を重視した周辺整備を実施してきた。そのため、遊園地のようなリゾート施設は設置せず、さくら湖上下流の地域住民自らが環境学習することが出来る場となるように、ビオトープ、さくらの公園、ウォーキング・トレイル、さくら湖自然観察ステーション、三春の里農業公園を整備してきた。

これまで我々は、気象・水象・地象等の生態系を取り巻く環境が人間や動植物の生き方にどう関わっているのかあまりにも無知でありすぎた感があった。さくら湖周辺に創造された新しい自然環境の中で、人間や動植物らの生活にどういった係わり方をもつか実体験的に学んでいくための自然観察園としてさらに整備し、後世の人々に対して伝えていくことが重要と考える。

(4) さくら湖周辺の生態系遷移の長期観察とダム管理

さくら湖自然観察園内で起きる自然の営みや成長を、土・水・大気等の変化とともに追跡観察し、水質の改善と自然環境の保全など、三春ダム管理にも役立てていくこととしたい。

(5) 環境学習の交流支援

さくら湖自然観察園内における広域的な流域住民の環境学習を支援し、専門的学術研究集団の調査・観察の成果とも定期的・組織的に交流することは、きわめて有意義な企画であると考えられる。

2. 活動計画

主旨で述べた活動を、より具体的な形態として活動していくテーマとして以下のようなことを計画する。

2-1 さくら湖自然環境フォーラム継続実施

さくら湖自然観察園で起きるさまざまな現象変化を公表し、その結果について誰でもが質問や討議に参加して意見交換が出来る場とする。また、フィールドを観察や見学することで参加者らが体験できるような会とする。あるいは、独自に調査研究した内容を発表できるような場としていく。フォーラムは毎年1回実施し、継続させていく。

2-2 自然観察副読本の発行

さくら湖自然観察園や大滝根川流域に生育、生息する動植物の観察の手助けとなる自然観察副読本を編纂する。副読本は、分野別に5編に分けて発行する。平成16年度に「動物編」「植物編」の2冊が完成し、平成18年度には「地形・地質編」の1冊の編集を行い、平成19年度に発行。平成19年度には「水生生物編」を編集し、平成20年度に発行。平成20年度には「水辺の歴史編」を編集し、平成21年度に発行。

3. 活動要領

3-1 フォーラム

- 1) 名 称：さくら湖自然環境フォーラム（開催年次を開催ごとに付記する）
- 2) 基本理念：地域住民がさくら湖をよく知り、さくら湖を誇りに思い、さらに自分たちのダムとして認識を深め、親しまれるダム湖と地域づくりに寄与する。
水源地の活性化に向けて、関係地域の自立的・持続的発展に寄与する。
- 3) 実施機関：さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
（三春ダム維持管理協議会が中心となる。国土交通省三春ダム管理所、福島県土木部河川港湾総室河川整備課、応用生態工学研究所、一般財団法人水源地環境センター、中郷・中妻まちづくり協会、三春町教育委員会、等で構成する。）
- 4) 後援機関：実施機関が要請し、承諾した公的及び民間組織
- 5) 開 催：以下のとおりとする。
 - ① 回 数：年1回程度とする。
 - ② 時 期：秋季の適当な時期（紅葉時期）
 - ③ 場 所：さくら湖自然観察ステーション
 - ④ 費 用：開催に関する費用は、協議会運営予算・支援金・寄附金等を充てる。
 - ⑤ 運営組織：実行委員会を組織し、その事務局を三春交流館内に置き、教育関係者、ボランティア（民間組織を含む）で構成する。
 - ⑥ 実施計画：運営組織で企画し実施する。
参加・話題提供者をその都度公募及び要請する。